

長野県の景観育成に向けた取組

長野県景観審議会
平成28年9月1日

原村



「長野県農村景観育成方針」 (H25.3策定)

三つの基本方針

方針Ⅰ
持続可能な農林業
の実現

方針Ⅲ
風景の魅力の県内外
への積極的なアピール

方針Ⅱ
「信州らしさ」を実感でき
る風景づくりの推進

美しく豊かな信州の農村景観を創り
育て継承する県民運動を展開

高山村



世界に誇る信州の農村景観育成事業

ふるさと信州風景百選

風景の「語り部」の育成

視点場づくりの支援

景観行政団体への移行支援

中野市

『ふるさとと信州風景百選』



発刊記念イベント



【トークショー】

《有償版》 県内書店、インターネットで発売中

- 初版3,000部(H27. 1月)
- 増刷2,000部(H27. 5月)

《無償版》 2,000部

- 学習での活用、新たな誘客につなげていただくため、学校や旅行業者等に配布

- 発刊を記念し、選定委員の皆様によるトークショーを開催
- 開催日：平成27年2月8日（日）
- 場 所：銀座NAGANO
- 参加者：30名(定員)



『ふるさと信州風景百選』WEBサイト

<http://www.nagano-tabi.net/view100/>

平成27年4月15日開設

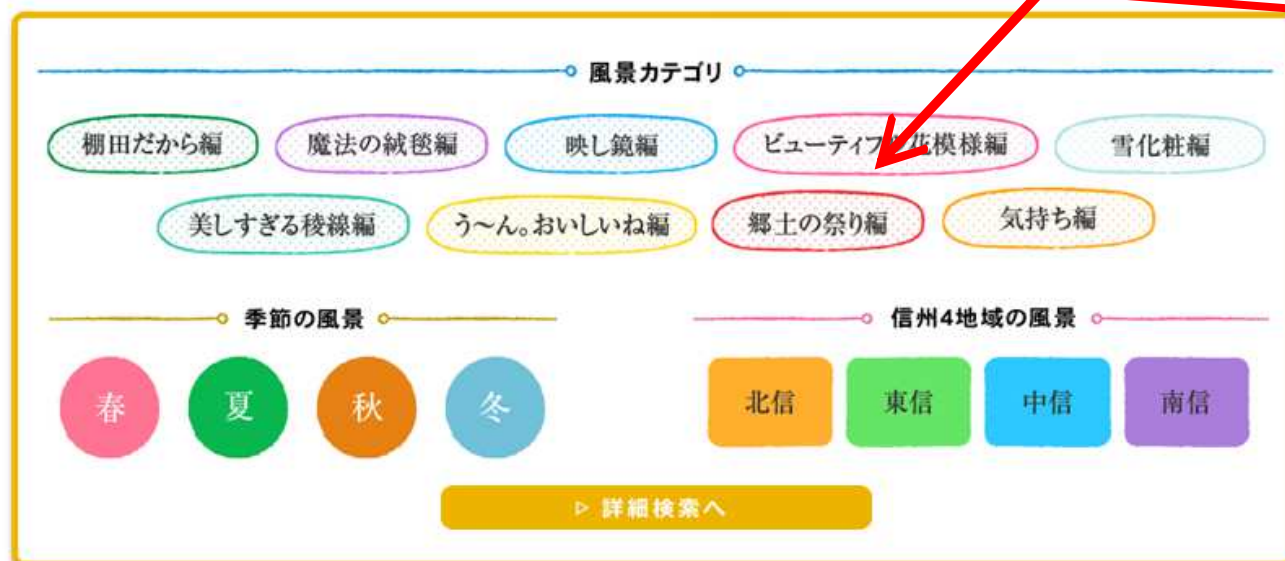


【新着情報】

百選に選ばれた箇所や周辺地域の行事・祭事・イベント等の最新情報

【風景INDEX】

風景カテゴリや季節の風景、信州4地域の風景の風景



ふるさと信州
風景100選
—伝えたい・残したいふるさとの感動—



『ふるさと信州風景百選』WEBサイト

<http://www.nagano-tabi.net/view100/>

004 Nanohana Koen 菜の花公園

飯山市

菜の花畑に
金色の風渡る

季節： 春
カテゴリ： 魔法の城跡遺構
サブカテゴリ： 農
地域： 北信 飯山市

霧深い北信濃に遠い春が訪れると、菜の花がそこかしこに咲き始めます。菜の花公園は、唱歌「幾月夜」のモチーフになった場所です。観音山の残雪と千曲川に架かる大関橋、そして一面に咲く菜の花のコントラストが絶妙！

いいね! シェア



スマートフォンなどで誘導

撮影場所



アクセス

JR飯山駅から車で15分（7.9km 国道117号）

豊田飯山ICから車で25分（15km 国道117号）

★アクセス数

（開設～平成28年8月31日現在）

22,000件



ふるさと信州
風景百選

— 伝えたい・残したいふるさとの感動 —

【魅力発信 ①】

県内外の方々に美しい信州の風景の魅力を発信

『ふるさと信州風景百選 パネル展』

今年は・・・

- 《宿泊施設》 ホテル信濃路、ホテルグリーン°ラザ°白馬、ほりで一ゆー四季の郷
- 《福祉施設》 大町市総合福祉センター、美麻総合福祉センター梨嶺
- 《病院》 安曇野赤十字病院
(予定) 佐久総合病院、
信州大学医学部付属病院、
伊那中央病院、長野赤十字病院
- 《その他》 長野市新庁舎、松本空港など

13箇所 延べ198日(予定含む)

《宿泊施設の声》

- お客様に長野県の素晴らしい風景を知っていただくことができた。

《病院の声》

- 入院、外来患者への医療提供以外の有意義な患者サービスができた。

《利用者の声》

- 足が不自由で遠出が出来ないが、こんなに沢山の風景が見られてよかった。

ふるさと信州風景パネル展



【魅力発信 ②】

知ろう、守ろう、みんなの風景

『ふるさと信州風景百選 出前講座』

信州の農村風景の魅力を次世代に継承していくため、人々の営みや歴史・文化など、写真を使って紹介 **〔H27:2校、H28:2校(予定)〕**

(小学生「わたしたちの長野県」の学習とタイアップ)

まちづくり出前講座

ふるさと風景100
一伝えたい・残したいふ
長野県建設
しまわせ信州

寒天(かんてん)の天日干(てんぴぼ)し風景

「寒天」ってなに?
・寒天は、ようかんや杏仁豆腐などを作る時に使うよ。
・寒天の原料は、「テングサ」「オゴノリ」という海藻のひもです。
・テングサを煮て→固め→冷やし→乾燥したもの。
・寒天を乾燥させるには、冬、雪が少なく寒さがきびしくないとできません。
・むかし、信州の行商人(ぎょうしょうにん)が寒天をつくっているところを見て「信州にあって」と感じ、諏訪(すわ)地方の農家の副業(ふくぎょう)として作り方をたえたといいました。
・生産量は、長野県が全国1位です。

クイズ 5)
寒天の原料となる「テングサ」はどれかな?

① ② ③



《児童の感想》

- 知らない風景がわかってよかった。
- きれいな所を教えてくれてよかった。



【魅力発信 ③】

四季折々の美しい信州が楽しめる

電子版『ふるさとと信州風景百選 カレンダー』

- 「ふるさとと信州風景百選」から15の風景を平成28年1月から平成29年3月(15か月)のカレンダーになりました。
- 「パソコンの壁紙用として」、「壁掛け用として」ご利用ください。
- 電子版カレンダーは、長野県ホームページから無料でダウンロードいただけます。



【魅力発信④】

『ふるさとと信州風景100選 絵はがき・しおり』

「ふるさとと信州風景百選」の風景を多くの皆様に知っていただくため、地元の企業・団体の皆様の御厚意により、「風景写真入りの絵はがき」を制作。

**17箇所
(1箇所2,000枚)**

私たちは信州の美しい風景を安全印刷させていただきます。

企業・団体名



ふるさとと信州風景100選

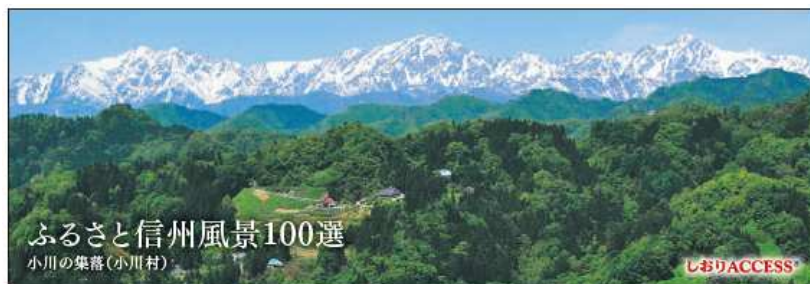
丹波郷 無量町



ふるさとと信州風景100選

安曇野の道祖神と屋敷林 安曇野市、池田町、松川村

企画振興部と連携し、都市住民に長野県の農山村の魅力を伝える、「風景写真入りの都市農村交流促進しおり」を作成。 **(8箇所:150,000枚)**



風景の「語り部」の育成

目指す方向

1 「ふるさと信州風景百選」選定箇所を訪れる人々に**満足感**を与えられる人材育成

満足感  眺めの対象の「成り立ち」「自然」「人々の営み」等を味わう

そのために …… 地域の歴史を含め、その景観を立体的に語れる人材が必要

2 「語り部」が意欲的に活躍できる仕組みづくり

- 意欲のある人材・団体の発掘 ⇒ **伝えたい思いを持つ人、伝えられる人**
- 登録制度 ⇒ **オーダーに応えられるフィールドと知識等の管理**
- HP等による「語り部」の紹介 ⇒ **効果的な手段で「使える」情報を発信**
- 実施可能な地域から取り組みをスタート ⇒ **成功事例を見せる**

風景の「語り部」の育成

目指す「語り部」の姿

「語り部」に求める人材

- **活動フィールドは狭くとも、眺めの背景を深く掘り下げて語れる知識を持つ者**
- **地域に愛着を持ち、その思いを分かりやすく伝えることができる者**
- **知識に加え、ホスピタリティを持って来訪者に接することができる者**

「語り部」が活躍する場面

1 担い手の育成的な活動の場

- 例① 小学校等から依頼され、子供たちに地域の歴史や伝統を伝える。**
- 例② 公民館等から依頼され、住民に地域の景観の魅力を伝える。**

2 観光案内的な活動の場

- 例① ツアー会社から依頼され、視点場で、旅行者に風景の背景を伝える。**
- 例② 県主催のイベント等に参加し、信州の景観の魅力を来訪者に伝える。**

「語り部」が活躍するフィールド

- **受け持つフィールドには、「ふるさと信州風景百選」の選定箇所が含まれる。**

風景の「語り部」の育成

「語り部」の育成の取組Ⅰ（松本地方事務所）

地域に即した実践的な研修会の開催

- 一般公募者を対象
- 修了者20名

日 程	内 容
1日目 (H27.10.16)	県の取組の紹介、活動の事例紹介 ワークショップ①「地域の魅力の伝え方」
2日目 (H27.10.23)	講演会 「農(美しい田園風景・農の暮らし)は観光の貴重な財産」(松本大学教授 山根宏文氏)
3日目 (H27.11. 1)	フィールド(安曇野市穂高)での実践講座
4日目 (H27.11. 6)	ワークショップ②「伝えるモノと語り部の役割」 座学「ゲストを惹きつける語り」



風景の「語り部」の育成

「語り部」の育成の取組Ⅰ（松本地方事務所）

参加者の声

- **ワークショップはよい方法であったと思う。**
- **語り部として必要な考え方が参考になった。**
- **見えない部分を引き出していくことの大切さが参考になった。**
- **実際にガイドをしてみる時間が欲しい（お互いガイド役とゲスト役で他者から評価して欲しい）**

今後の方向

- **平成28年度は、実際に語り部(ガイド)として受講者 各人が語る機会を設ける予定**

風景の「語り部」の育成

「語り部」の育成の取組Ⅱ（都市・まちづくり課）

全県を対象とした総合的な研修会の開催

- 活動団体、市町村、一般希望者を広く募集
- 参加人数(述べ) H26年度78名、H27年度105名

開催数	内 容
1回目 (H26.11.5)	講演会(語り部・かたりすと平野啓子氏) 事例発表(下栗案内人の会)
2回目 (H27.3.25)	講演会(県環境保全研究所 富樫均氏) 事例発表及び意見交換(安曇野案内人倶楽部、 信州高山みちおしえの会)
3日目 (H28.2.4)	講演会(県立歴史館 原明芳氏) 事例発表(地方事務所の取組事例) 語り部・かたりすと平野啓子氏を交えた意見交換



風景の「語り部」の育成

「語り部」の育成の取組Ⅱ（都市・まちづくり課）

参加者の声

- **また来たいと思わせる話し方、どんなガイドブックよりもすばらしい語りを学びたい。（H26）**
- **Iターンの方の目が重要だと感じた。（H26）**
- **移住者独自の観点からの発表は非常に面白かった。（H26）**
- **「訪問者に常に同じ情報が提供できるか」という言葉は参考になった。（H26）**
- **もっと参加者の声が聞ける時間があると良かった。（H27）**
- **事例発表や現地学習等、実践的な内容で継続的に開催して欲しい。（H27）**
- **実践の「語り部」が活用できるメニューが有れば良いと思います。（H27）**
- **講師の「語り」を聞きたかった。本物を聞くというのは活力になる（H27）**

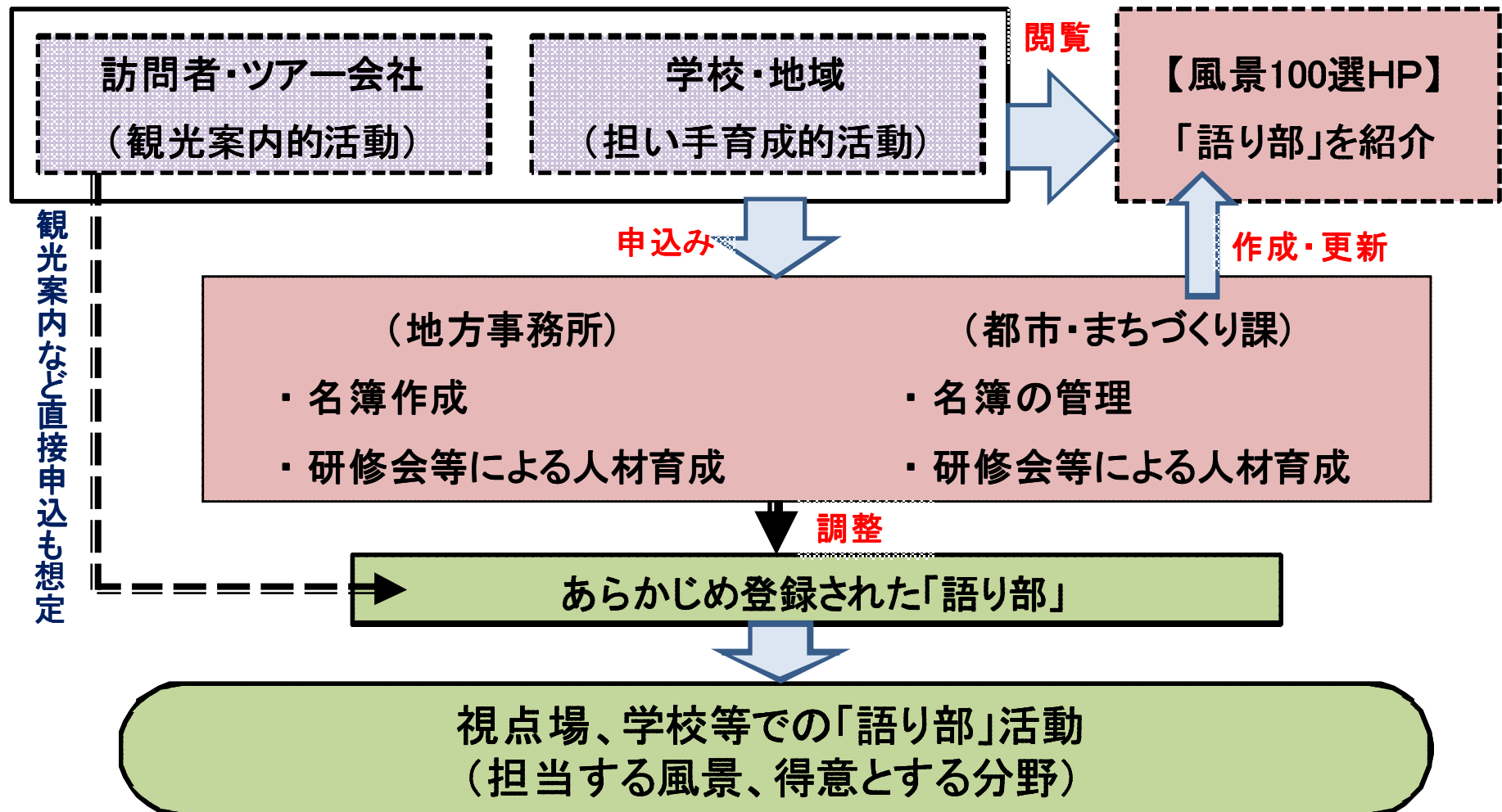
今後の方向

- **より実践的な内容とし、開催を継続していく。**
- **知識や語りの技術に加え、ホスピタリティの向上も課題としていく。**

風景の「語り部」の育成

「語り部」が活躍できる仕組みづくり

支援体制のイメージ



視点場作りの支援

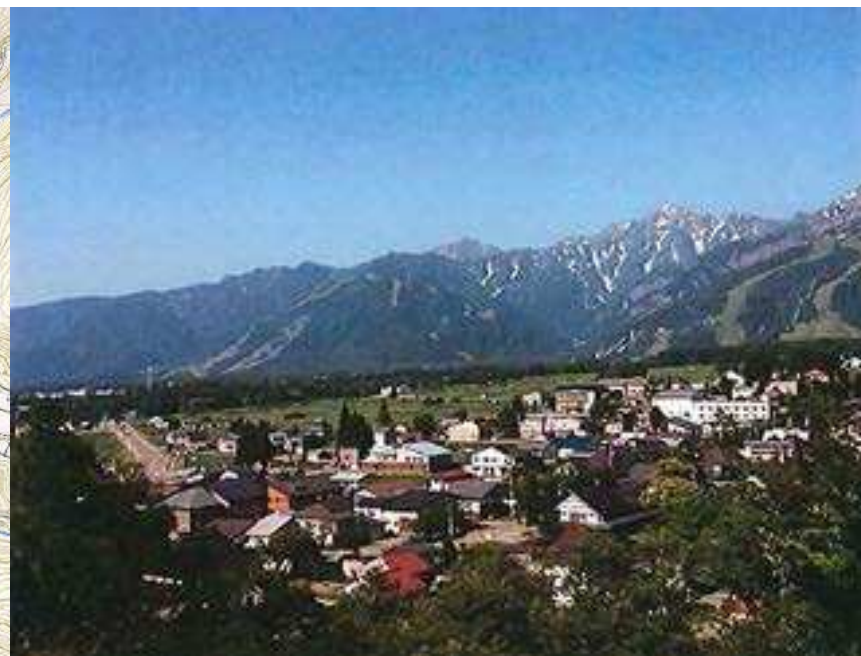
■ビューポイント整備事業

百選を展望できるビューポイントの開設を促進するため、市町村等が行うビューポイントの整備に要する経費を補助。

- ・事業主体：市町村、広域連合及び一部事務組合
- ・補助率：2/3以内（補助限度額：300千円）
- ・H25～H27整備実績：28箇所
- ・H28年度実施予定：10箇所



ビューポイント整備事業（事例紹介）



伝行山展望公園からの眺望

事業主体：白馬村新田区

※地域住民を主体として組織する団体が行うビューポイント整備事業として初の事例

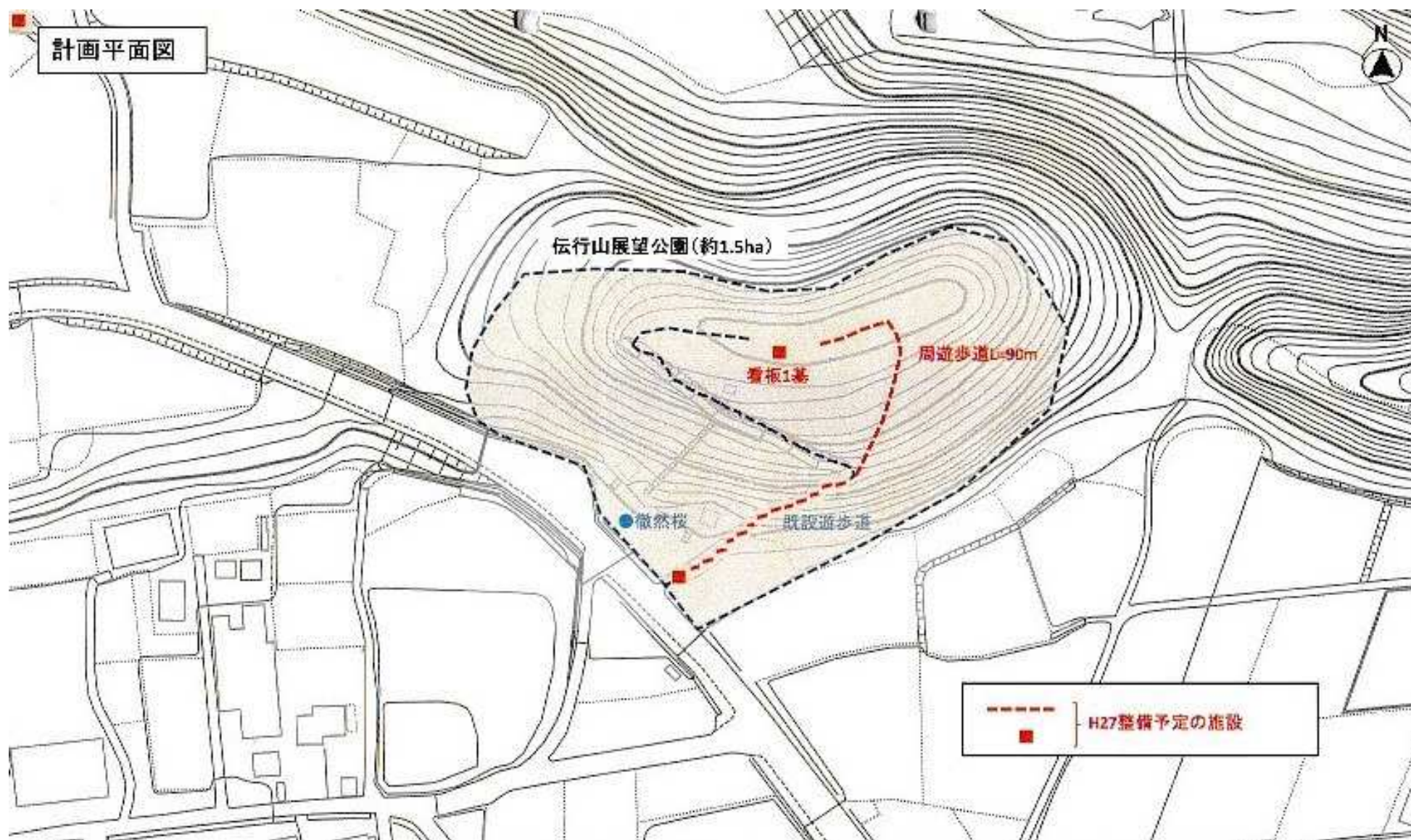
事業箇所：白馬村大字北城11083 伝行山展望公園

整備内容：ビューポイントの開設

遊歩道整備 延長127.9m 幅員2.8m～3.8m

案内看板設置 1基

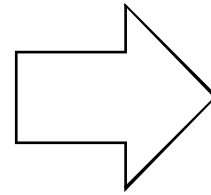
ビューポイント整備事業（事例紹介）



ビューポイント整備事業（事例紹介）



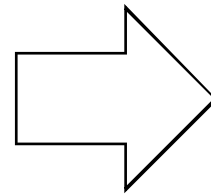
遊歩道(起点) 整備前



遊歩道(起点) 整備後



遊歩道(中間地点) 整備前



遊歩道(中間地点) 整備後

視点場作りの支援

■ 信州ふるさとので見える(丘)の認定

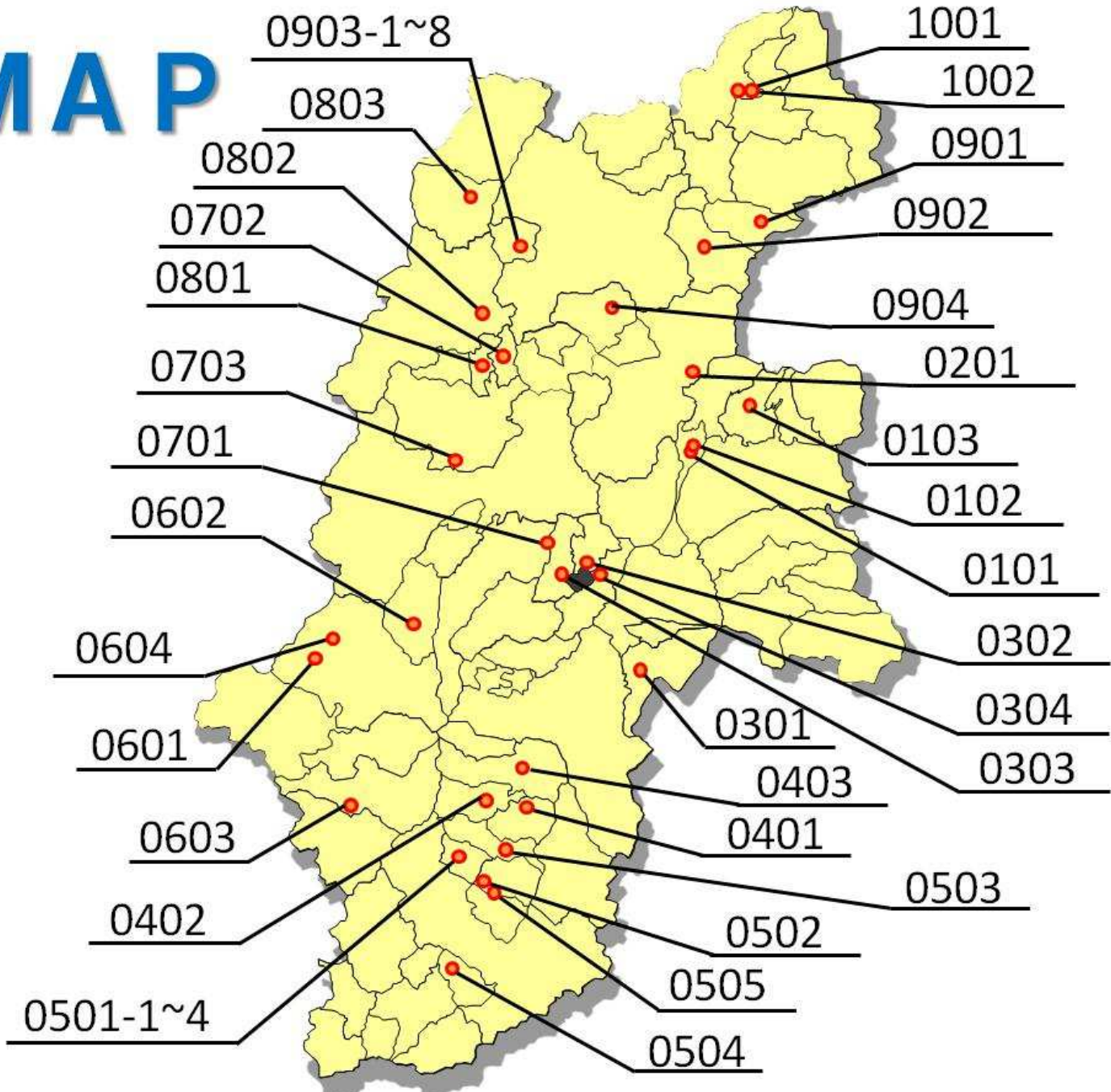
「ふるさと信州風景百選」の風景を展望できるビューポイントを多くの方々に知っていただき、実際に訪れていただくため、「信州ふるさとので見える(丘)」として認定。

・認定箇所：42箇所（H28.8.1現在）



信州ふるさとに見える（丘）の認定

MAP



信州ふるさとに見える丘

番号 第0803号

名称 伝行山展望公園

場所 北安曇郡白馬村大字
北城11083番地 他

形態 公園

面積 約1.5ha

眺望
の
特
徴

標高730mの丘からは、
大出集落をはじめ、雄
大な北アルプスの景色
を一望できます。

眼下に見渡す新田地
区は、古くからの佇まい
と相まった桜並木の街
づくりを進めており、信
州らしさやふるさとを垣
間見ることができる公
園です。



信州ふるさとに見える丘

番号

第1001号

名称

飯山市菜の花公園

場所

飯山市大字瑞穂495-1
外

形態

公園(駐車場多数あり)

面積

約6ha

眺望
の
特
徴

雄大な千曲川のほとり一面に菜の花が咲き誇り、遠くに北信濃の山並みを望みます。菜の花公園は、飯山市の代名詞ともいえ、雪深く厳しい冬から開放され、自然が輝き出す春の彩りとして、全国的にも有名な景勝地となっています。



景観行政団体への移行支援

景観行政団体：20市町村（H27）

総合5カ年計画目標達成

景観行政団体の区域は、
県土の45%をカバー

飯田市

これからの県の取組について

○これまでの農村景観育成の取組
の評価は

○更に取組を発展、拡大させるため
何に力点を置くべきか

○広域的な立場を踏まえどのように
取組むべきか

皆様のご意見をお願いします。

池田町